

目標達成計画

作成日: 平成 25年 5月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37、48、52	スタッフが作業中心で動いている時があり、お客様が退屈されていたり、面白くないと思われる時間がある。	お客様にもっと笑顔になっていただく。	お客様の楽しみや喜びごとをアンケートや日常生活の観察から見つける。 レクリエーションの研修・勉強会をする。 レクリエーションや機能訓練、学習療法など充実・工夫をする。誕生会を充実・工夫する。	12ヶ月
2	29、35	火災や災害時の各役割による行動や、警報機等の防災機器の操作方法などがスタッフによってあいまいに覚えている。	火災や災害に対する避難訓練を年3回以上行う。	役割の再確認や具体的な行動を理解する。 警報機等の防災機器の操作方法を理解・実践する。 避難訓練で各役割を遂行する。	12ヶ月
3	13、14	社内で毎月開催されている全体勉強会の出席率が悪くなっている。	社内で毎月開催の全体勉強会の出席率を上げる。	全体勉強会に出席する。 出席して聴講することにより、ケアの知識や実践方法を習得する。 勉強会のレポートを提出する。	12ヶ月
4	48、49	お出かけを行っているものの、お客様やスタッフの顔ぶれが一緒に社会性が乏しくなっている。	社内のグループホームやデイサービス等他事業所のお客様やスタッフと交流をしていただく。	毎月1回は他事業所と交流する。 食事やおやつ、レクリエーションを一緒にする。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。